

専攻科だより

— 生産システム工学専攻第3期生修了 —
～ 専攻科修了にあたって ～

専攻科長	葛目幸一
海上輸送システム工学専攻主任	多田光男
生産システム工学専攻主任	藤本隆士

生産システム工学専攻第3期生が修了

平成21年3月13日、生産システム工学専攻・第3期生9名（機械系8名 情報系1名）が修了しました。修了に際して学生に「ひとことメッセージ」を寄せていただきました。設問は下記のとおりです。

- ① 専攻科に入学して良かったこと、悪かったこと
- ② 専攻科を修了しての抱負
- ③ 後輩にひとこと

伊藤 将吾（機械系）

- ① TAとして講習会や授業に参加し、CADやFEMなどの汎用性が高いソフトの基本的な使い方や人に物事を教える難しさを学びました。また、中四国交流会などの行事ごとに関係する準備や手配などが少し大変でした。
- ② 就職してからは、何事にも挑戦を行い、会社の中で『弓削商船の専攻科はすばらしい』といわれるような立場になって行きたいと思います。
- ③ 専攻科に所属する学生の大きな壁は学位授与試験です。試験では予想していない問題が出てくるかもしれませんが、今まで自分がしてきたことを発揮すれば必ず結果は付いてきます。

大内田 一生（機械系）

- ① 授業料が安い。環境が変化しない。本科からの研究が続けられる。学士授与のために外部機関が行う審査に合格する必要がある。視野が狭くなりがち。知名度がない。
- ② これから先、順風満帆にいかないことも多いと思いますが、挫けずに頑張っていきます。
- ③ 学位授与試験のレポート作成の際は指導教員とよく相談し十分な対策を行って試験に臨んで下さい。

片平 卓志（機械系）

- ① 専攻科では研究や授業において自主的に勉強する機会が多かったので、わからないことを自分で調べる能力が身についたと思う。専攻科に入学して悪かったと思うことはありません。
- ② 私は進学するので、この学校で学んだことを活かせるような研究をしていきたいと思っています。

- ③ 自分のしている研究の目的をしっかりと理解して研究に取り組むと良いと思います。

藤原 裕太（機械系）

- ① 良かったことは、進路に対する視野が広がったことです。本科当時は、就職活動に際して解らない事が沢山ありましたが、専攻科に入学した事で1年間自分の進路について真剣に考え、また、様々な刺激を得ることができました。
- ② これから社会人となり、一人前の男に成長しなくてはなりません。一人の人間として自立し、社会に貢献し、ゆくゆくは家庭をもって家族を幸せにできるよき親父に成りたいと思います（笑）
- ③ 夢を持って頑張ってください。諦めたら試合終了です。勉強よりも様々な人と接する機会を積極的に設け、見聞を広げることが大切であると思います。

山内 優暢（機械系）

- ① 本科に比べて専攻科では、授業・研究・就職活動などで主体的に自ら行動することが多く、重要になります。始めのうちそれは辛くも感じますが、結果的に二年間で成長出来たと思います。
- ② 高専の専攻科は大学に比べて形態も異なる上、人数が少なく貴重な存在だと思えます。私は企業に就職しますが、大学生とは違った自分たちの魅力を生かせるようにしていきたいと思っています。
- ③ 後輩にひとこと その他何でも私は後輩と進路の話をする場合、専攻科を含め進学を勧めます。私にとって進学はプラスになったためです。もちろん十人十色ですので絶対はありませんが、是非選択肢の一つに入れてみて下さい。

森光 一樹（機械系）

- ① 有限要素法のソフトの使い方やCADソフトを本科在学中以上に学習できた。特別研究などやりたいことができとても充実した2年間だった。
- ② 本科と専攻科で学習したことを生かし会社に入社がんばりたい。
- ③ 本科では出来なかったことも多くあるのでやる気のある人は専攻科に入学して欲しい。

